

令和6年

春の全国交通安全運動

実施要綱



実施期間

4月6日(土)～4月15日(月)

<交通事故死ゼロを目指す日 4月10日(水)>

スローガン

『 見えますか 渡るその子の 小さなサイン 』

目的

この運動は、気温の上昇や屋外で活動する機会が増える時期に、広く県民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的とします。

運動の重点

- ① こどもが安全に通行できる道路交通環境の確保と安全な横断方法の実践
- ② 歩行者優先意識の徹底と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行
- ③ 自転車・電動キックボード等利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守

運動の進め方

県、市町村及び関係機関・団体は、相互に連携を密にして、それぞれの実情に即した実施計画を策定し、積極的な広報・啓発活動を行い、県民の交通安全意識の高揚が図られるよう、効果的な運動を展開しましょう。

通年運動

令和6年度「止まって!横断歩道キャンペーン」

取組重点期間

4月6日(土)～4月15日(月)

公益財団法人 柏崎地区交通安全協会

重点① こどもが安全に通行できる道路交通環境の確保と安全な横断方法の実践

こどもが歩くための安全確保

- ◎ 県内、令和5年中の、こどもが関わる交通事故の死者は車両同乗中の1人（前年比±0人）でしたが、負傷者は152人（前年比+26人）と増加しました。負傷者のうち、約4割にあたる54人（前年比+18人）が歩行者で、その約7割にあたる40人（前年比+10人）は、道路横断中の事故でした。
- ◎ 通学路や学校付近、幼稚園・保育園の付近など、こどもの行動範囲では、特に歩行者の急な動きに対応できるよう、速度を控えて安全運転を心掛けましょう。

こどもに安全な横断方法を！

- ◎ 保護者を始めとした周囲の大人も交通ルールをしっかりと守り、こどもの手本になりましょう。
- ◎ 基本的な交通ルールが身に付くよう、保護者等による繰り返しの指導をお願いします。



重点② 歩行者優先意識の徹底と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行

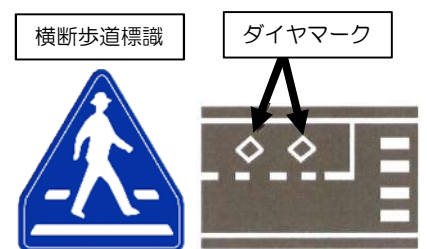
歩行者を意識した運転を！

- ◎ 県内、令和5年中の、歩行中の死者は22人（前年比+7人）、負傷者は482人（前年比+33人）と大きく増加しました。特に、道路横断中が15人（前年比+6人）と歩行中の死者の約6割を占めました。
- ◎ 令和5年に行われた一般社団法人日本自動車連盟の調査によると、歩行者が横断しようとしている「信号機のない横断歩道」において、一時停止した車は、新潟県では23.2%と令和4年より低くなりました。



横断歩道では「歩行者優先」である交通ルールを再確認！

- ◎ 信号機のない横断歩道の手前には、横断歩道標識や、先に横断歩道があることを予告するダイヤモンドが路面に標示されています。
（※周辺状況により設置されない場合もあります。）
- ◎ ドライバーは、横断歩道付近の歩行者の動きに特に注意し、横断歩道の手前では減速するなど歩行者の横断に備え、横断者がいる時は必ず横断歩道の手前で一時停止しましょう。



重点③ 自転車・電動キックボード等利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守

自転車ヘルメット着用と安全確保

- ◎ 県内、令和5年中の、自転車事故の死者は5人（前年比－6人）、負傷者は333人（前年比－23人）でした。
- ◎ また、警察庁が都道府県ごとに自転車ヘルメット着用率を調べたところ、**最も高い県で約60%近く**に達した一方、**新潟県は約2%あまり**という結果でした。
- ◎ 自転車事故による死者の**約6割は頭部に重大な傷害を負っており**、ヘルメットの着用は万が一の事故の際、頭部への衝撃を軽減し、命を守ることに繋がります。
- ◎ 自転車ヘルメットは万が一の交通事故から**頭部を保護して命を守りますので、安全性を示すマーク（JIS、SG、CEマークなど）の付いたヘルメットを着用し、自転車を安全に利用**しましょう。



特定小型原動機付自転車に関する交通ルール等について

- ◎ 令和5年7月に改正道路交通法が施行され、電動キックボード等のうち一定の基準を満たすものについては、「特定小型原動機付自転車」と位置付けられ、運転免許不要等の新しい交通ルールが適用されました。
- ◎ 特定小型原動機付自転車に該当する電動キックボード等の運転者が守るべき交通ルールの中には、**乗車用ヘルメットの着用**の努力義務があります。自分の命を守るため、**乗車用ヘルメットを着用**しましょう。



通年運動

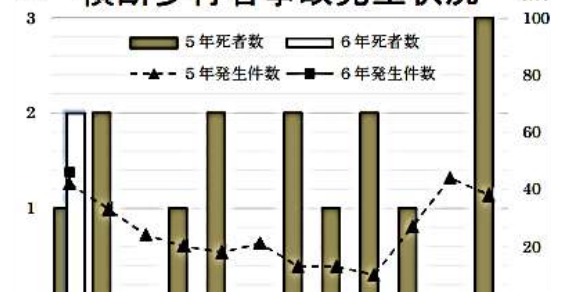
止まって!横断歩道キャンペーン

取組重点期間

4月6日(土)～4月15日(月)

- ◎ 本年1月末現在、県内の横断歩行者事故発生状況は、発生件数、死者数、負傷者数はともに増加しています。
- ◎ 令和5年4月中の横断歩行中の死者は1人、負傷者数20人（前年比＋1人）となり、**中学生以下の子どもが3人**（前年比＋1人）、**65歳以上の高齢者が74人**（前年比＋1人）となり、**負傷者全体の半数**を占めました。
- ◎ 昨年は4、5月と横断歩行者が亡くなる交通死亡事故が発生しています。子どもや高齢者への保護意識を持った、思いやりのある運転をお願いします。

(人) 横断歩行者事故発生状況 (件)



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
6年 発生件数	46												46
6年 死者数	2												2
6年 負傷者数	47												47
5年 発生件数	41	34	24	21	20	20	15	14	12	28	42	41	312
5年 死者数	1	2	0	1	2	0	2	1	2	1	0	3	15
5年 負傷者数	42	33	24	20	18	21	13	13	10	27	44	38	303

【自転車ヘルメット着用促進に向けたロゴマーク】



新潟県の自転車ヘルメット着用促進に向け、新潟デザイン専門学校からご協力をいただき、「新潟県」と「自転車ヘルメット」をテーマとしたロゴマークを作成して頂きました。

ロゴマークの浸透とともに、自転車ヘルメットの着用促進を進めてまいります。

4月10日(水)は「交通事故死ゼロを目指す日」です

全国では記録の残る昭和43年以降、毎日、交通事故死亡事故が発生している状況です。このような中、平成20年1月に、交通安全に対する国民の意識を高めるため、新たな国民運動として、「交通事故死ゼロを目指す日」を設けることとされました。



「交通事故死ゼロ
を目指す日」

なお、令和3年4月8日には、初めて全国で死亡事故ゼロが達成されました。

春の全国交通安全運動 ～ 主な実施内容(予定) ～

- 1 早朝街頭立哨（各地区・各事業所）
- 2 街頭指導及び交通指導所（予定）
- 3 各広報誌及び「交通安全だより」による周知
- 4 のぼり旗掲出・ポスター掲載（関係機関）
- 5 ホームページによる広報